

# 加計呂麻島沖の水中で撮影されたウシマンボウの記録

澤井悦郎<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 〒 639-0200 奈良県北葛城郡上牧町 マンボウなんでも博物館

<sup>2</sup> 〒 684-0016 鳥取県境港市花町 8-1 海とくらしの史料館

## はじめに

ウシマンボウ *Mola alexandrini* (Ranzani, 1834) は、全長 3.3 m 以上になるマンボウ科 Molidae マンボウ属 *Mola* の大型海産魚類である (Sawai et al., 2017b; Sawai and Nyegaard, 2022). 本種は全長約 1.2 m 以上の個体において、頭部や下顎下部の隆起、舵鰭縁辺部の形状、胸鰭後方の体表上の隆起したシワの有無などの形態的特徴の組み合わせによって、同属のマンボウ *Mola mola* (Linnaeus, 1758) やカクレマンボウ *Mola tecta* Nyegaard et al., 2017 (日本では未確認) から外観的に識別される (Sawai et al., 2017b; 澤井, 2021a, 2024a). 日本近海における本種は北海道以南で散発的に記録されているが、未記録地も多く、さらなる情報収集が求められている (Sawai et al., 2017b; 澤井, 2021a). このたび、2026 年 2 月に鹿児島県の加計呂麻島沖でウシマンボウ 1 個体が水中で撮影され、加計呂麻島における本種の初記録になると考えられたため、ここに報告する。

## 材料と方法

本研究で調査したウシマンボウ 1 個体 (Fig. 1) は 2026 年 2 月 27 日 15 時頃に鹿児島県の加計呂麻島 (奄美群島) の東沖 (28°05'35.6"N, 129°21'49.1"E 周辺) で、加計呂麻島ダイビング & ペンション RIKI が主催するホエールウォッチング・スイム中に、シュノーケリングによって水面付近で撮影された。ダイブコンピューターで計測された遭遇時の現場水温は 21.5 °C であった。本個体は写真か

ら外部形態を観察し、種同定は Sawai et al. (2017b) と澤井 (2021a) にしたがった。

## 結果と考察

本研究で調査したマンボウ属 1 個体は、下顎下部に明瞭な隆起があり (Fig. 1 矢印)、頭部はほんのわずかに隆起しているように見え (Fig. 1 矢印)、胸鰭より後方の体表に盛り上がったシワが無いことから (Fig. 1)、ウシマンボウと同定された。本個体の舵鰭縁辺部は部分的に波打っているように見えるが、典型的なマンボウの舵鰭縁辺部は全体的に山型の波型があり (Sawai et al., 2017b)、本個体のような谷型の波型ではない (Fig. 1 矢印)。先行研究で知られている本種個体 (例えば、Sawai et al., 2017b; 澤井, 2021a, 2024a) との形態比較から、本個体はほんのわずかしか頭部は隆起していないが、下顎下部は明瞭な隆起が確認できるため、推定全長 1.4-2.0 m の範囲と推測された。

本研究で調査した限りでは、これまでに文献上で知られているウシマンボウの都道府県別の記録は以下のとおりである [新規データの無い引用の繰り返し (魚類目録など) や情報が曖昧なもの (魚類図鑑など) を除き、各文献で新たなデータとして使用されたサンプルや情報 (同一個体の重複含む) の中で、都道府県が分かるもののみを示した (★の文献は後に本種に再同定された個体を含む)]: 北海道 (澤井ほか, 2014, 2020; 澤井・石黒, 2022), 青森県 (澤井・石黒, 2022), 岩手県 (吉田, 2006a; Yoshita et al., 2008; 澤井ほか,

Sawai, E. 2026. First record of *Mola alexandrini* (Molidae) photographed underwater off Kakeroma-jima island (Amami Islands, Kagoshima Prefecture), Japan. *Nature of Kagoshima* 52: 203–205.

✉ ES: Ocean Sunfishes Information Storage Museum, Kanmaki-cho, Kitakatsuragi-gun, Nara 639-0200, Japan (e-mail: sawaetsu2000@yahoo.co.jp).

Received: 5 March 2026; published online: 8 March 2026; [https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_052/052-051.pdf](https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-051.pdf)



Fig. 1. An individual of *Mola alexandrini* (1.4–2.0 m estimated total length) was photographed off Kakeroma-jima island (around 28°05'35.6"N, 129°21'49.1"E), Kagoshima Prefecture, Japan, on 27 February 2026. Arrows indicate diagnostic characters for the species provided by Sawai et al. (2017b). Photographed by Harumi Goto.

2009; 山野上ほか, 2010; 澤井・山野上, 2016b), 宮城県(相良ほか, 2005; 吉田ほか, 2005), 茨城県(辻井, 1999★; 相良ほか, 2005; 澤井ほか, 2015b), 千葉県(祖一, 2009★; 山野上・澤井, 2012; Sawai et al., 2017b; Sawai and Nyegaard, 2022; 澤井, 2022a), 東京都[小笠原諸島(吉田, 2006b; 澤井, 2024a, 2025)], 神奈川県(澤井・山野上, 2016a; 澤井ほか, 2019; 澤井・山田, 2022), 新潟県[佐渡島(澤井, 2023)], 富山県(澤井ほか, 2017a), 石川県(石川県水産総合センター, 2012; 澤井・山野上, 2016b), 福井県(澤井, 2021c), 静岡県(吉田ほか, 2005; 澤井・相原, 2024a–b), 三重県(藤原, 2020★; 澤井, 2021a, 2024b; 澤井・杉山, 2021a–b), 島根県(澤井, 2022b), 山口県(Sawai et al., 2018; 園山ほか, 2020), 徳島県(澤井, 2021b), 高知県(澤井, 2018), 長崎県[有福島(Sawai and Nakamura, 2020)], 大分県(澤井ほか, 2015a), 鹿児島県[喜界島(Sawai and Yamada, 2019); 奄美大島(澤井ほか, 2020)], 沖縄県[沖縄島(澤井, 2026); 伊江島(Yoshita et al., 2008); ナガンヌ島(澤井, 2026); 久米島(澤井ほか, 2023); 渡名喜島(澤

井ほか, 2023); 与那国島(下瀬・澤井, 2012★; Sawai and Yamada, 2019)]. また, 加計呂麻島を含めた周辺海域の魚類リストの中に本種の記録は見つからなかった(Nakae et al., 2018; 本村ほか, 2019). 本個体(Fig. 1)の遭遇場所は奄美大島より加計呂麻島の方が近く, 上述よりこれまでに加計呂麻島からの本種の記録はみあたらないため, 本個体が加計呂麻島初記録のウシマンボウとなる.

## 謝辞

本研究を取りまとめるにあたり, 本研究で調査したウシマンボウ1個体について, 濱地武之氏(加計呂麻島ダイビング&ペンションRIKI)には情報を提供していただき, 後藤晴美氏(株式会社マリロード)には写真を提供していただいた. 以上の方々に心から厚く御礼申し上げる.

## 引用文献

- 藤原昌高. 2020. ぼうずコンニャクの全国47都道府県うまさぎゴーゴー!: 水産物研究家が市場巡りで見つけた全国のうまさぎ店. マイナビ出版, 東京. 237 pp.
- 石川県水産総合センター. 2012. ウシマンボウ? 来遊. 石川県漁海況情報, 229: 1.
- 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編). 2019. 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島. 436 pp.
- Nakae, M., H. Motomura, K. Hagiwara, H. Senou, K. Koeda, T. Yoshida, S. Tashiro, B. Jeong, H. Hata, Y. Fukui, K. Fujiwara, T. Yamakawa, M. Aizawa, G. Shinohara and K. Matsuura. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, 52: 205–361.
- 相良恒太郎・吉田有貴子・西堀正英・国吉久人・海野徹也・坂井陽一・橋本博明・具島健二. 2005. 日本周辺海域に出現するマンボウ *Mola mola* にみとめられた2つの集団. *魚類学雑誌*, 52: 35–39.
- 澤井悦郎. 2018. 高知県須崎市沖で漁獲された四国初記録のウシマンボウ. *日本生物地理学会会報*, 73: 187–189.
- 澤井悦郎. 2021a. 写真に基づく三重県初記録のウシマンボウ, およびマンボウ属の新たな分類形質. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 8: 31–36.
- 澤井悦郎. 2021b. 写真に基づく徳島県からのヤリマンボウ, ウシマンボウ, およびマンボウ(マンボウ科)の記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 10: 1–6.
- 澤井悦郎. 2021c. 写真に基づく福井県初記録のウシマンボウ. *Nature of Kagoshima*, 48: 119–122.
- 澤井悦郎. 2022a. マンボウ属と船舶の衝突事例: スクリュープロペラによって重傷を負ったウシマンボウの打ち上げ記録. *Nature of Kagoshima*, 49: 65–67.
- 澤井悦郎. 2022b. 写真に基づく島根県初記録のウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 27: 1–3.

- 澤井悦郎. 2023. 新潟県初記録および日本海で初めての打ち上げ記録となるウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 28: 32–35.
- 澤井悦郎. 2024a. 小笠原諸島から得られた日本最小記録を更新するウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 41: 13–16.
- 澤井悦郎. 2024b. 三重県沖で新たに漁獲されたウシマンボウとそのマスメディア報道について. *Nature of Kagoshima*, 51: 35–38.
- 澤井悦郎. 2025. 小笠原諸島沖の水中で撮影されたマンボウの確かな記録. *Nature of Kagoshima*, 51: 241–244.
- 澤井悦郎. 2026. ナガノヌ島および沖縄島沖で記録されたウシマンボウ. *Nature of Kagoshima*, 52: 175–178.
- 澤井悦郎・相原岳弘. 2024a. 静岡県大瀬崎におけるマンボウ属の出現状況. *Nature of Kagoshima*, 50: 127–130.
- 澤井悦郎・相原岳弘. 2024b. マンボウ属の掃除魚の再検討：静岡県大瀬崎で確認された新しい掃除魚. *Nature of Kagoshima*, 50: 135–139.
- 澤井悦郎・石黒智大. 2022. 北海道3例目および青森県初記録のウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 25: 27–33.
- 澤井悦郎・川本剛志・吉田健太郎. 2023. 久米島と渡名喜島沖の水中で撮影されたウシマンボウの記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 31: 14–18.
- 澤井悦郎・松井 萌・ダルママニ ヴィジヤイ・柳 海均・桜井泰憲・山野上祐介・坂井陽一. 2014. 北海道初記録のウシマンボウ *Mola* sp. A. *魚類学雑誌*, 61: 127–128.
- Sawai, E. and I. Nakamura. 2020. New locality record of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Tetraodontiformes: Molidae) from Nagasaki Prefecture, western Japan. *Biogeography*, 22: 65–67.
- Sawai, E. and M. Nyegaard. 2022. A review of giants: examining the species identities of the world's heaviest extant bony fishes (ocean sunfishes, family Molidae). *Journal of Fish Biology*, 100: 1345–1364.
- 澤井悦郎・瀬能 宏・竹嶋徹夫. 2019. 神奈川県立生命の星・地球博物館に展示されていたウシマンボウの剥製標本. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), 48: 37–42.
- 澤井悦郎・杉山弘樹. 2021a. 志摩マリンランドにおけるヤリマンボウの希少な飼育記録. *Nature of Kagoshima*, 48: 61–65.
- 澤井悦郎・杉山弘樹. 2021b. マンボウ科 (ヤリマンボウ, ウシマンボウ) とコバンサメ科 (ナガコバン属) の共生関係に関する一考察. *Nature of Kagoshima*, 48: 79–82.
- 澤井悦郎・田村佑輔・桜井泰憲. 2020. 写真に基づく北海道2例目および北限更新記録のウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 3: 47–50.
- 澤井悦郎・山田和彦. 2022. 日本国内で初めて確認されたウシマンボウの産座記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 18: 6–10.
- Sawai, E. and M. Yamada. 2019. Bump-head sunfish *Mola alexandrini* photographed in the north-west Pacific Ocean mesopelagic zone. *Journal of Fish Biology*, doi: 10.1111/jfb.14214 (Dec. 2019), 96: 278–280 (Jan. 2020).
- 澤井悦郎・山野上祐介. 2016a. 神奈川県小田原沖にて冬期に漁獲されたウシマンボウ. *魚類学雑誌*, 63: 54–56.
- 澤井悦郎・山野上祐介. 2016b. マンボウとウシマンボウと日本におけるマンボウ研究. *海洋と生物*, 38: 451–457.
- 澤井悦郎・山野上祐介・木村知晴・稲村 修. 2017a. 日本海から2例目 (富山県初記録) のウシマンボウ. *魚類学雑誌*, 64: 191–193.
- 澤井悦郎・山野上祐介・望月利彦・坂井陽一. 2015b. 日本国内の博物館関連施設に保管されているマンボウ属の大型剥製標本に関する形態学的知見について. 茨城県自然博物館研究報告, 18: 65–70.
- Sawai, E., Y. Yamanoue, M. Nyegaard and Y. Sakai. 2017b. Redescription of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Ranzani 1839), senior synonym of *Mola ramsayi* (Giglioli 1883), with designation of a neotype for *Mola mola* (Linnaeus 1758) (Tetraodontiformes: Molidae). *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-017-0603-6 (Dec. 2017), 65: 142–160 (Jan. 2018).
- 澤井悦郎・山野上祐介・坂井陽一. 2015a. 九州初記録のウシマンボウ. *魚類学雑誌*, 62: 201–202.
- 澤井悦郎・山野上祐介・坂井陽一・橋本博明. 2009. 日本近海で採集されたマンボウ属 (*Mola* spp. A and B) の形態異常個体. *生物圏科学*: 広島大学大学院生物圏科学研究科紀要, 48: 9–17.
- Sawai, E., Y. Yamanoue, T. Sonoyama, K. Ogimoto and M. Nyegaard. 2018. A new record of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Tetraodontiformes: Molidae) from Yamaguchi Prefecture, western Honshu, Japan. *Biogeography*, 20: 51–54.
- 下瀬 環・澤井悦郎. 2012. That's entertainment: アングラー高橋一郎. 国内6ビルフィッシャーを目指して、メカジキに懸ける情熱の狭間で出会ったもの.... *BIGGAME*, 29: 16–17.
- 祖一 誠. 2009. 海ののんき者, マンボウの謎, pp. 197–210. 猿渡敏郎・西源二郎 (編) 研究する水族館—水槽展示だけではない知的な世界—. 東海大学出版会, 秦野.
- 園山貴之・荻本啓介・堀 成夫・内田喜隆・河野光久. 2020. 証拠標本および画像に基づく山口県日本海産魚類目録. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告, 11: 1–152.
- 辻井正巳. 1999. 展示品紹介 マンボウ *Mola mola*. 自然博物館ニュース A・MUSEUM, 21: 4.
- 山野上祐介・馬浩清司・澤井悦郎・坂井陽一・橋本博明・西田 睦. 2010. マルチプレックスPCR法を用いた日本産マンボウ属2種のミトコンドリアDNAの簡易識別法. *魚類学雑誌*, 57: 27–34.
- 山野上祐介・澤井悦郎. 2012. マンボウ研究最前線—分類と生態, そして生物地理, pp. 165–182. 松浦啓一 (編) 黒潮の魚たち. 東海大学出版会, 秦野.
- 吉田有貴子. 2006a. 岩手県沖に同所的に出現するマンボウ2集団の形態学および生態学的研究. 国際沿岸海洋研究センター研究報告, 31: 12–14.
- 吉田有貴子. 2006b. マンボウと小笠原諸島. 季刊誌 i-Bo, 17: 18–20.
- 吉田有貴子・相良恒太郎・西堀正英・国吉久人・海野徹也・坂井陽一・橋本博明・具島健二. 2005. 日本周辺海域に出現するマンボウのミトコンドリアDNAを用いた個体群解析. *DNA多型*, 13: 171–174.
- Yoshita, Y., Y. Yamanoue, K. Sagara, M. Nishibori, H. Kuniyoshi, T. Umino, Y. Sakai, H. Hashimoto and K. Gushima. 2008. Phylogenetic relationship of two *Mola* sunfishes (Tetraodontiformes: Molidae) occurring around the coast of Japan, with notes on their geographical distribution and morphological characteristics. *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-008-0089-3 (Dec. 2008), 56: 232–244 (July 2009).